

社会活動推進課からの連絡とお願い

日頃は、青少年の健全育成につきまして御理解と御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、愛知県県民文化局県民生活部社会活動推進課が実施する事業につきまして、本年度も御協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

1 令和 7 年度少年の主張愛知県大会について

令和 6 年度少年の主張愛知県大会の開催につきましては、大変お世話になりました。参加学校数 247 校、応募者総数 35,312 名という、多数の御参加をいただきました。また、この大会で最優秀賞を受賞した村木新^{むらきあらた}さん（西尾市立鶴城^{つるしろ}中学校）は、中部・近畿ブロック代表の一人として、11 月に国立オリンピック記念青少年総合センター（東京）にて実施された全国大会に出場し、審査委員会委員長賞を受賞しました（4 ページ参照）。皆様の格別のお力添えに改めて感謝申し上げます。

令和 7 年度の少年の主張愛知県大会につきましては、別紙開催要領のとおり、8 月 20 日（水）名古屋市中区役所ホールにて実施いたしますので、作文の募集及び推薦について御協力をお願いします。

学校推薦を実施しない学校に在籍する生徒に対して、個人応募での作文提出を可能にしておりますが、学校推薦 1 名を選出いただきますと、選出されました生徒につきましては、全員に努力賞（県大会出場者は奨励賞）を授与させていただきますので、是非とも御協力をお願いします。

なお、開催要領及び作文募集ちらしにつきましては、各県教育事務所及び名古屋市教育委員会を通じて各中学校に 2 月 27 日付けで配布させていただいておりますので、御承知おきください。

2 青少年インターネット適正利用促進事業について

当課では、インターネットを介した犯罪やトラブルから青少年を守るため、保護者や教職員、児童・生徒などを対象に「みんなのネットモラル塾」を開催し、インターネットの危険性やフィルタリングの必要性を周知するとともに、家庭でのルールづくりを支援しています（5 ページの昨年度チラシ参照）。

今年度の講座については、6 月頃に御案内を差し上げる予定ですので、PTA の集まりや研修会、児童・生徒への啓発講座として御活用ください。

皆様の御要望に合わせた人数や所要時間で開催させていただきます。子どもたちが安全・安心にインターネットを利用するための一助になればと存じますので、宜しくお願いします。

3 愛知県青少年保護育成条例の一部改正について

スマートフォンの普及によりＳＮＳなどを通じて知り合った相手から、青少年が、騙されるなどして自分の裸体等の撮影画像を送らされる、いわゆる「自画撮り被害」が多発しており、被害に遭った生徒は、自分の裸の画像がインターネット上で拡散しているのではないかなどと将来にわたり不安にさいなまれることになります。

自画撮り被害は、匿名性などのインターネットの特性が悪用され、要求行為者の巧みな手口等により、被害者は心理的に拒否できない状況に追い込まれるなどした上で被害に遭っておりますので、ＳＮＳを利用していれば、誰でも被害に遭う可能性があります。

また、恋人・友人関係のみならず、部活動・学年の上下関係などに起因する生徒間の被害も発生しております。

このような被害を未然防止するためには、自画撮り画像を送らされる前段階である要求行為を規制する必要がありますので、愛知県青少年保護育成条例の一部改正をし、「児童ポルノ等の提供を求める行為の禁止」の規定を新設しました。改正条例は、３月 25 日に公布され、施行日は７月 1 日となっております。

改正の内容ですが、「何人も、青少年に対して、当該青少年に係る児童ポルノ等の提供を求めてはならない。」という規定を新設し、威迫等の不当な手段を用いて要求行為を行った場合には 30 万円以下の罰金を科します。条文に「何人も」とありますので、青少年同士による要求行為も禁止されますが、本条は青少年を保護することを目的に制定されておりますので、青少年に対しては罰則は適用されません。

今後、愛知県内の全ての小・中学校、高校等に啓発チラシや啓発ポスターを配布いたします。生徒指導者や担任の先生等から生徒に対して、「児童ポルノ画像を要求することは条例違反になること」「要求された場合には、信頼できる大人に相談すること」「生徒間でも要求してはいけないこと」を周知していただきますよう、お願い申し上げます。

担 当 青少年グループ

電 話 052-954-6175（ダイヤルイン）

その他の社会活動推進課からの連絡事項

1 「家庭の日」県民運動啓発ポスターの募集について

○要領配布：令和7年6月

○募集期間：令和7年6月～9月

○応募資格：小・中・高・特別支援学校の児童及び生徒

*上記日程で各学校あてに作品募集を行いますので御協力をお願いします。

昨年度は、児童の部 639 校、生徒の部 205 校、応募者数 9,727 名に御参加いただきました。具体的には、啓発ポスター・リーフレットを作成し、県内の教育機関、行政機関等に配布するなど、全県で県民運動を展開しました。

2 青少年の被害・非行防止に取り組む県民運動について

○強調期間：令和7年7月1日～8月31日（夏期）

令和7年12月20日～令和8年1月10日（冬期）

*有害環境に接することが心配される長期休業期間に合わせて、啓発活動やパトロールを実施します。非行に走らない、被害に遭わないような長期休業中の過ごし方の御指導をお願いします。

3 青少年によい本をすすめる県民運動について

○強調月間：令和7年10月1日～10月31日

*優良図書目録の作成・配布及びはがきによる読書感想文・感想画を募集します。

*読書感想文募集図書を7月上旬に連絡する予定ですので、学校単位での取組をお願いします。

*参加校には愛知県書店商業組合から、図書または図書カードが贈呈されます。

4 各市町村における子ども・若者支援地域協議会について

不登校やひきこもり等、社会生活を円滑に営む上で困難を抱える子ども・若者に対しては、重層的で切れ目のない支援を行うネットワークの整備が必要です。

こうした中、愛知県では、「子ども・若者育成支援推進法」に規定する「子ども・若者支援地域協議会」や「子ども・若者総合相談センター」の市町村における設置促進を図っています。同地域協議会は、構成員として教育関係機関も想定されておりますことから、各地区において開催される同地域協議会への出席依頼等がありましたら、御協力をお願いします（愛知県内の「子ども・若者支援地域協議会」と「子ども・若者総合相談センター」一覧については5ページ参照）。

「じゃない方」になって気づいたこと

西尾市立鶴城^{つるしろ}中学校 3年 村木^{むらき} 新^{あらた}

「新のお弁当、美味しそうだね」

部活動の試合や校外学習などがあると、弁当が必要になる。食事中、弁当をのぞいてきた友達にそう言われることが度々あった。その時、私は父の顔を思い浮かべ、少し誇らしい気持ちになり、感謝する。

父は弁当が必要だとわかると、数日前から「おかずはどうしたらいいんだ」

と、頭を悩ませているが、当日になるといつも早起きして美味しい弁当を作ってくれる。皆さんは、弁当を作ってくれるお父さんと聞くと、どんなイメージを抱くだろう。

「男性なのに、料理ができてすごいな」

もしくは、

「なんでお母さんが作らないの」

と疑問に思う人もいるだろう。その疑問が湧くには、きっと父親には「仕事をしてお金を稼ぐ一家の大黒柱」とか、「家事は母親が中心で父親はあまり手を出さない」などのイメージがあるからだろう。私の父も、以前はそんな「世間一般の父親像」とそう違いはなく、はじめから料理をしていたわけではなかった。では、なぜ料理をするようになったのか。それは、必要に迫られたからだ。

私が小学六年生になってすぐの四月、母は病気で天国へと旅立った。残された家族で生きていくために、父は仕事と家事をこなし、私たち兄弟三人を育てている。いわゆる「シングルファザー」の一人だ。母の一件から、私たちは、世間にありふれたごく普通の家族から、普通「じゃない方」の家族へと、オセロがひっくり返るように一変したのだった。

世間一般で見れば、ひとり親世帯が少数派で、その中でも父子家庭は母子家庭より圧倒的に少ない。ひとり親になる理由は、離婚や死別などさまざま。それにもかかわらず母子家庭が多いのは、おそらく子育てをする上で母親の方がもともと関わりが深く、家事をしていたという理由からだろう。

日頃、私は家族を支える父の姿を見ている。そんな父に改めてシングルファザーでどんなことに困っているかを聞いてみると、

「ひとり親世帯に対する支援は、就労や所得に制

限がある手当などに限られている。実際は経済面以外にも、家事や仕事の子どもの世話、習い事の送迎など、助けを借りたいことはたくさんあるのに、そういった支援は少ないな」

と話してくれた。こうした背景には、同じひとり親でも、男性は女性と比べ経済的な変化が少なく、それほど困っていないとされている点があるからかもしれない。

私も、自分が今の状況になって、初めて父子家庭について考えるようになった。もし家庭環境に何も変化が起きなかったのであれば、父子家庭について何も考えることはなく、不自由のない毎日を過ごしていたと思う。では今後、自分が当事者であるかにかかわらず、さまざまな社会問題に対し、どのように目を向けていけばよいのだろう。当事者ではないからと言って無関心でいたなら少数派にいる人々の思いは日の目を見ることなく、消えていってしまうだろう。自分の生きていく社会をそんな社会にしないため、二つのことを心がけたい。

一つ目は、無意識のうちに世間の常識と思い込んでいる見方や、多数派の意見を一方的に押し付けることのないようにすることだ。そのような「アンコンシャスバイアス」と言われる意識が、性別や年齢、家庭や社会での役割に働いている場面があるかもしれない。できる限り先入観をもたず、実態に目を向け相手の立場に立ってものごとを考えることができる想像力を養っていきたい。

二つ目は、たとえ自分が「じゃない方」の少数派になることがあっても、自分の意見を言うべき時にしっかりとと言える、勇気をもった人間になりたいということだ。

このように、社会のさまざまな事象や立場に関心をもち、適切に自分の考えを主張していくことが、社会全体をよりよい方向へと変えていく力になると、私は信じている。

私は今日も父が献立を考え、父が作った料理を食べる。今はまだこれは一般的「じゃない方」と思われるかもしれない。しかしいつか、そうした少数派の立場の人たちも、少数派「じゃない方」の人たちも誰もが、住みやすい社会が来ることを願っている。

「青少年のネット安全・安心講座 ～みんなのネットモラル塾～」 の御案内

愛知県県民文化局県民生活部社会活動推進課

インターネットを介して、子どもたちが犯罪やトラブルに巻き込まれる事案が後を絶ちません。子どもたちが安全にインターネットを利用するためには、保護者と子どもの双方が、インターネットに潜む危険性やその対策を理解し、インターネットを適切に利用するための家庭でのルールづくりを行うことが大切です。

そこで、愛知県では、講師派遣型の出張講座として、「青少年のネット安全・安心講座 ～みんなのネットモラル塾～」を実施します。どうぞ積極的に御活用ください。

講座内容



スマッホー

- ・子どもたちが巻き込まれやすいトラブルや危険性、フィルタリングの必要性について理解を深めます。
- ・相手からの要求に応じ、自分の裸体の撮影画像等を送らされる「**自画撮り**」被害や、高額な報酬を得る代わりに特殊詐欺や強盗等の犯罪行為に加担する「**闇バイト**」など、近年多発しているSNSを介した犯罪やトラブルの事例を交えながら、子どもたちがSNSを利用する際の基本的な注意点や、家庭でのルールづくりについて学びます。
- ・パワーポイントを使った講座を主体とし、グループディスカッションやワークショップなどについても、御希望に応じて実施します。

○ 講座の対象者

保護者、教職員、児童・生徒、その他子どもたちを見守る立場にある大人 等

○ 講座の実施方法

講座形式 出張講座又はオンライン講座

受講者数 30 人程度から御希望の人数まで、可能な範囲で対応します。

受講時間 1～2 時間を基本としますが、御希望に応じて柔軟に対応します。

講 師 愛知県が委託する事業者が講師を手配します。

(委託事業者：G & D ソリューションズ※グリーンシティケーブルテレビ株式会社及び特定非営利活動法人デジタルライフサポーターズネットによる共同事業体)

会 場 学校の教室、講堂、地域の公民館 等 ※申込者様が御準備ください。

受講費用 無料 ※ただし、オンライン講座の場合、通信費は自己負担となります。

○ 講座のお申込み

講座専用Webページ <https://net-moral.com>



お申し込み期間 2024 年 5 月 27 日 (月) から 2025 年 3 月 7 日 (金) まで

■お問合せ先■ 愛知県県民文化局県民生活部 社会活動推進課 電話：052-954-6175

1. 自撮り被害の現状

- 「自撮り被害」とは
・だまされたり、脅されたりして青少年が自分の裸体等をスマートフォン等で撮最させられた上、SNS等で送られる被害のこと。
・画像等が一旦インターネット上に流出されるとその回収は困難であり、被害がより深刻となる。
- こども家庭庁による「青少年のインターネット利用環境実態調査(2023年度)」によれば、小学生62.5%、中学生86.3%、高校生98.1%がスマートフォン等の機器を利用している。
- SNSに起因し性被害に遭った児童が使用していたSNSは、エックス、インスタグラム、ティックトックなど青少年に馴染み深いものが多く、オンラインゲームを経由しての被害もある。
- 青少年は、SNSに自身の趣味、日常生活、友達募集などの犯罪に巻き込まれるとは考えにくい内容を投稿していたにもかかわらず、自撮り被害に遭っている。

2. 自撮り被害のイメージ図

①SNSの公開領域で児童を物色し、年齢・性別を偽るなどしやり取りを重ね、児童の信頼を得て個別のやり取りをする。その後、児童の悩みや個人情報を探み、それをゆすりのネタに、裸等の画像を要求する



②児童は悪質な要求行為に対処できず裸等の画像を送らされる。送信後、送らせた相手は児童ポルノ禁止法違反で検挙される

3. 愛知県青少年保護育成条例による規制（児童ポルノ等の提供を求める行為の禁止）

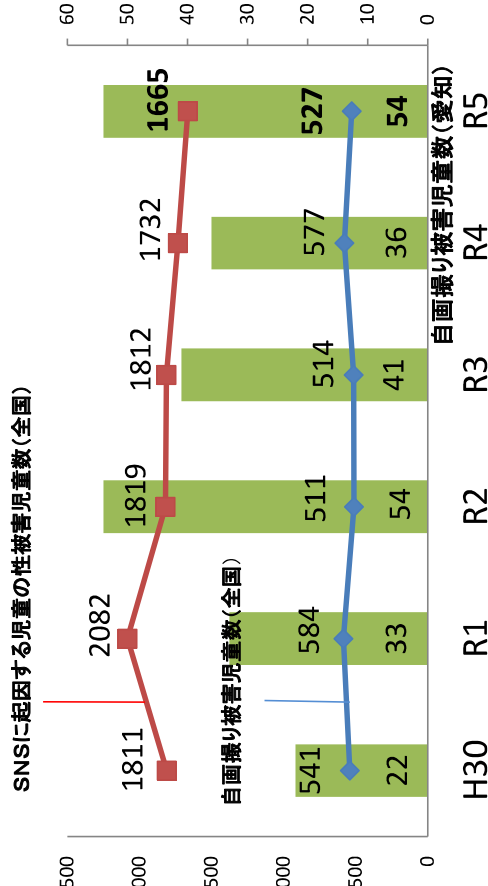
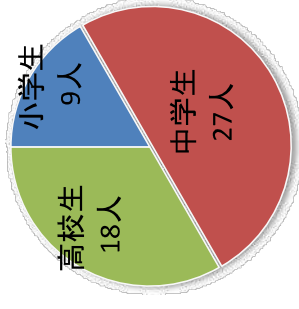
○ 禁止規定の追加 何人も、青少年に対して、当該青少年に係る児童ポルノ等の提供を求めてはならない。

○ 罰則規定の追加 青少年に、不当な手段を用いて要求した場合には、30万円以下の罰金とする。※不当な手段の類型は、「拒まれたにもかかわらず」「威迫」「欺き」「困惑」「対償を供与」「供与の申込み」「供与の約束」とする

4. 条例改正の効果や県等の取組

- 条例で「児童ポルノ等の提供を求める行為の禁止」を規定することで、行為者に対して、青少年に児童ポルノ等の送信を要求することへの抑止力となる。
- 規定を小学生から高校生に広く周知することで、自撮り被害に遭う前に、青少年から保護者等への相談につながるため、被害防止が期待できる。
- 県警、教育委員会、市町村等と連携して、青少年及び県民に対する周知啓発を実施する。
- 特に青少年に対しては、自撮り画像の要求行為があった場合に、自分たちで抱え込まずに保護者等に相談するように周知啓発を図る。

SNSに起因する児童の性被害(全国)及び自撮り被害児童数(全国、愛知)の推移 (人)

自撮り被害 学職別児童数
(令和5年愛知県)

愛知県内の「子ども・若者支援地域協議会」と「子ども・若者総合相談センター」一覧
(2025年4月1日現在)

子ども・若者支援地域協議会	子ども・若者総合相談センター
名古屋市子ども・若者支援地域協議会	名古屋市子ども・若者総合相談センター（本部・金山プラランチ）
豊橋市子ども・若者支援地域協議会	豊橋市子ども若者総合相談支援センター「ココエール」
岡崎市子ども・若者支援地域協議会	岡崎市子ども・若者総合相談センター「わかサポ」
一宮市青少年支援地域協議会	一宮市青少年センター子ども・若者総合相談窓口
瀬戸市子ども・若者支援地域協議会	瀬戸市子ども・若者センター
春日井市子ども・若者総合支援地域協議会	春日井市子ども・若者総合相談窓口
豊川市子ども・若者支援地域協議会	豊川市少年愛護センター相談窓口
刈谷市子ども・若者支援地域協議会	刈谷市子ども・若者総合相談窓口
豊田市子ども・若者支援地域協議会	豊田市子ども・若者総合相談センター -RePPO（りっぽ）-
安城市若者支援地域協議会	安城市若者総合相談窓口「あんさぼ」
西尾市子ども・若者支援地域協議会	西尾市子ども・若者総合相談センター「コンパス」
蒲郡市子ども・若者支援ネットワーク協議会	蒲郡市子ども・若者相談窓口
大府市子ども・若者支援地域協議会 （大府市青少年問題協議会子ども・若者支援部会）	大府市ひきこもり専門相談（子ども・若者支援相談窓口）
知多市若者支援地域協議会	知多市若者支援センター
知立市子ども・若者支援地域協議会	—
田原市子ども・若者支援地域協議会	田原市子ども・若者総合相談窓口
北名古屋市子ども・若者支援地域協議会	北名古屋市子ども・若者総合相談窓口
あま市子ども・若者支援地域協議会	あま市子ども・若者相談窓口
大治町子ども・若者支援地域協議会	大治町子ども・若者相談窓口

<参考> 地域における子ども・若者育成支援ネットワーク（イメージ）

